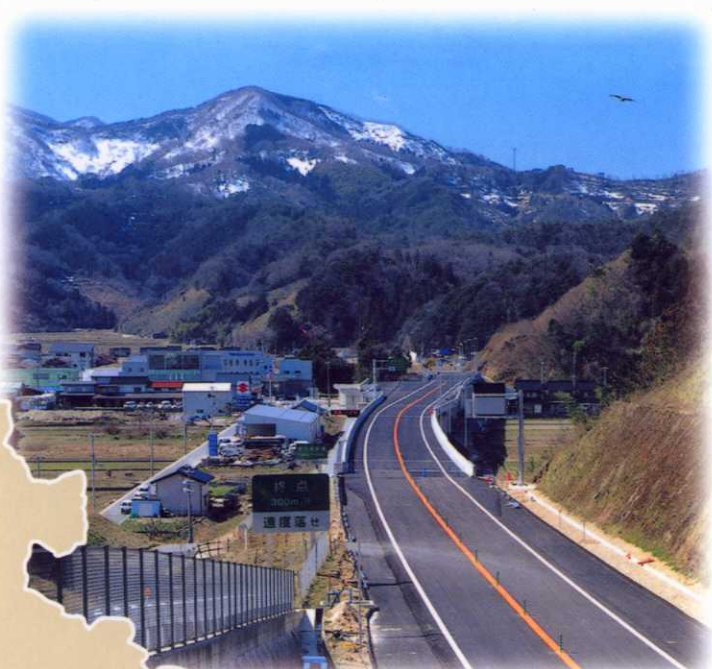
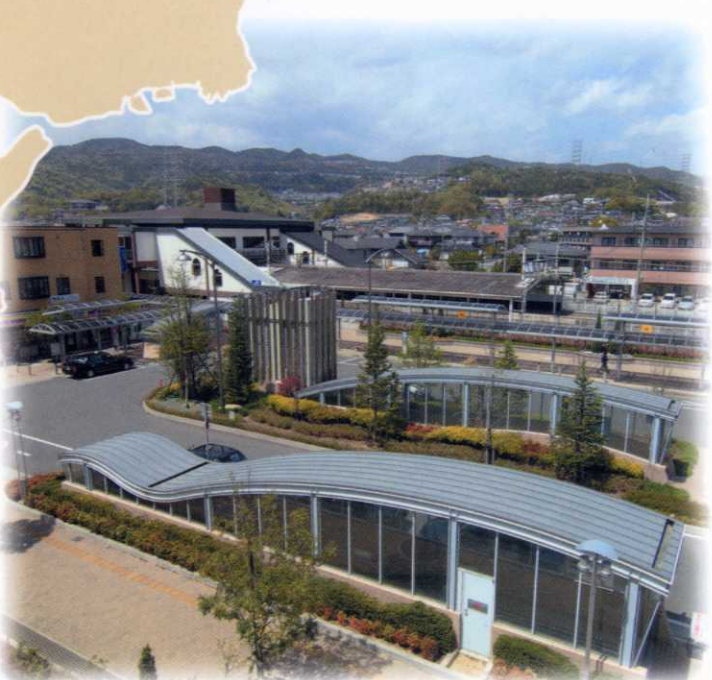




—美しい兵庫をめざして—



財団法人 兵庫県まちづくり技術センター
Hyogo Construction Technology Center for Regional Development



ごあいさつ

財団法人兵庫県まちづくり技術センター

理事長 山口 昇

財団法人兵庫県まちづくり技術センターは、組織統合から3年目を迎えました。この間、従来の建設事業の設計監理、積算、工事監理業務ならびに土地区画整理事業の調査・計画業務に精力的に取り組むとともに、住民の参画と協働によるまちづくり活動への支援を行い、社会基盤整備ならびに住民主体のまちづくりに貢献してまいりました。

これらのセンターの事業が円滑に遂行できましたのも、県、市町並びに関係機関の皆様のご支援、ご協力の賜であり、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年兵庫を襲った記録的な風水害は、私たちの日々の暮らしを支える県土と生活の基盤がいかに脆弱であったかを改めて認識させ、さらなる安全で安心のできる県土づくりが重要となっています。また、本年4月1日に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行され、県民生活並びに経済活動の基盤となる社会資本整備に対する品質確保の必要性が強く求められると共に、技術審査、施工状況の評価など発注者の責務および技術力が求められています。

このような中、当センターでは、一層多様化する建設行政需要に迅速かつ的確に対応するため、これまでの『たくましい技術者の育成』『新しい技術開発』『安全で美しい地域づくり』の3つの柱を堅持して、県民の参画と協働のもと、成熟社会にふさわしいまちづくりに貢献できるよう努めてまいりたいと考えています。

特に、今年度は災害復旧・復興事業支援、土地区画整理事業新規事業化支援等の「公共事業発注者支援事業の推進」、ITを活用した業務への取組の拡充・強化、CM業務やGISシステムに関する研究等の「業務拡大に向けた調査研究事業の推進」、新技術に関する情報収集発信及び研修、職員の資格取得推進等の「技術力向上の推進」の3つを重点目標に掲げ、積極的に業務を展開することとしています。

今後も、当センターでは、県・市町連携のもと、安全・安心で美しいまちづくり・社会基盤整備の推進に必要な技術と情報を提供するため、職員一同、誠心誠意取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成17年4月

設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、住民の参画と協働によるまちづくり活動等を支援することにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくりに寄与することを目的とする。

基本財産

4億200万円

設立年月日

平成8年4月1日

シンボルマーク



Construction Technology Center for Regional Developmentのイニシャル「CTC」を上下のウェーブで囲んでいます。

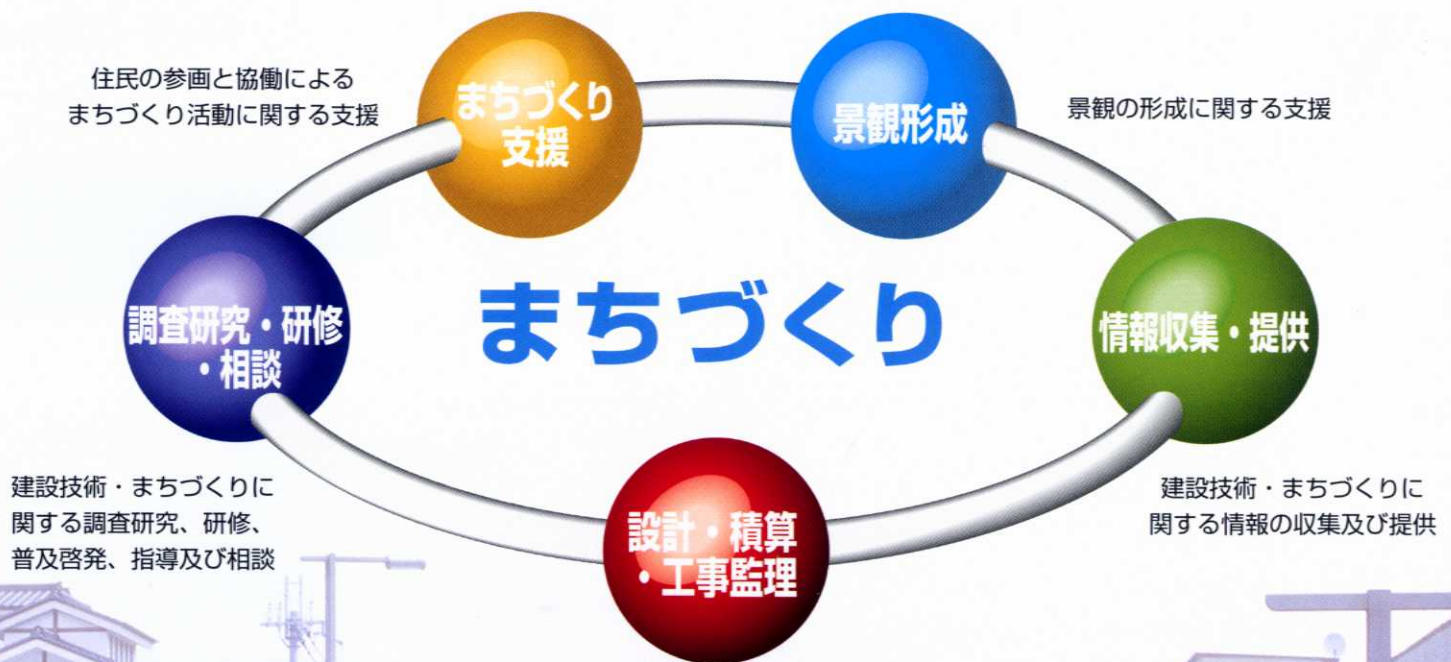
このウェーブは、南北を海に面した兵庫県の姿とともに「新しい風」と「新しい波」を表わし、兵庫県まちづくり技術センターの発展的な姿を象徴しています。

出捐者

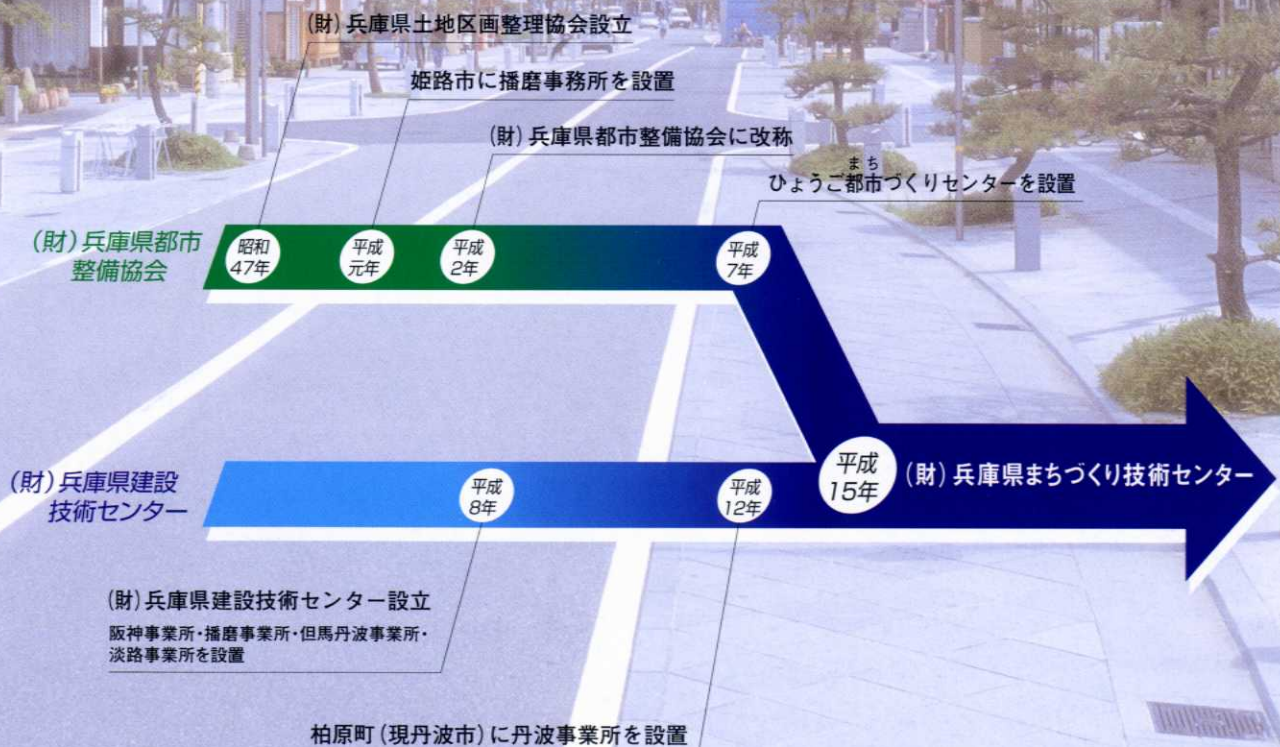
兵庫県及び県内27市21町
(平成17年11月1日現在)

表紙写真／上段左：阪神間都市計画事業 芦屋西部第二地区 震災復興土地区画整理事業
上段右：(国)178号香住道路(鳥取豊岡宮津自動車道)
下段左：八千代トンネル
下段右：阪神間都市計画事業 中筋JR南地区 土地区画整理事業(JR中山寺駅南駅前広場)

センターの業務

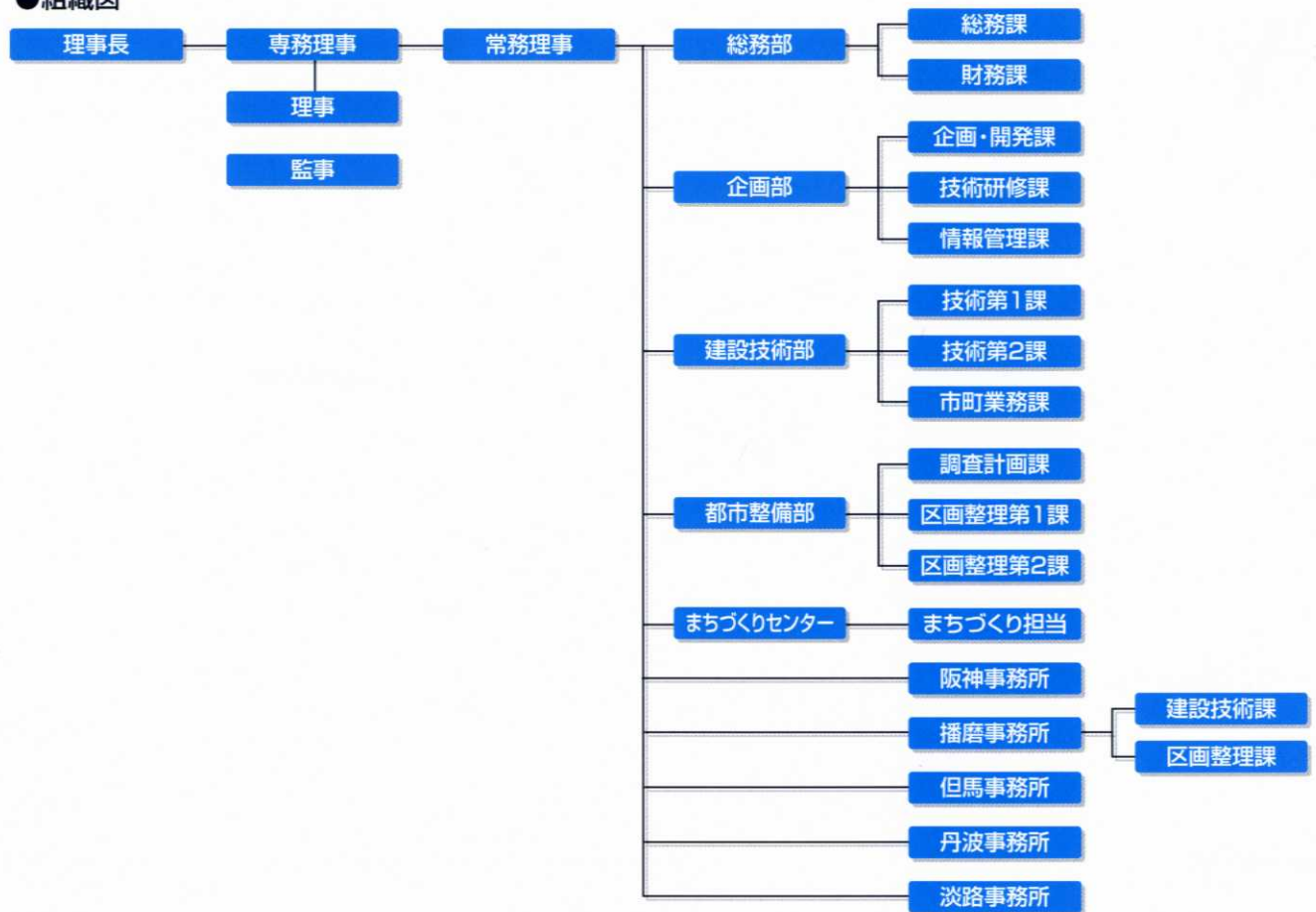


組織の沿革



組織

●組織図



●役員名簿

理事長	山口 昇
専務理事	荒木 捷文
常務理事	大田 貞明
〃	耕守 由博
〃	中川 準之
理 事（姫路市助役）	嵯峨 徹
〃（西宮市助役）	河野 昌弘
〃（洲本市助役）	濱田 知昭
〃（加古川市助役）	吉田 正巳
〃（篠山市助役）	稲川 敏之
監 事（夢前町助役）	永安 浩三
〃	百瀬 豪

（平成17年11月1日現在）

●職員数

区分	固有職員	兵庫県職員	県土地開発公社職員	土木嘱託員	計
役員	3	3	0	0	6
総務部	6（4）	5	0	0	11（4）
企画部	6	4	0	1	11
建設技術部	5	11	2	0	18
都市整備部	17	1	0	0	18
まちづくりセンター	1	2	0	0	3
事務所	14	16	9	7	46
計	52（4）	42	11	8	113（4）

（ ）内書は県への派遣職員

●技術顧問

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	（財）地域地盤環境研究所（京都大学名誉教授）	トンネル工学、岩盤工学
加賀有津子	大阪大学助教授	環境設計情報学
小林 潔司	京都大学教授	計画マネジメント
福島 徹	兵庫県立大学教授	都市工学、地域システム分析
福田 知弘	大阪大学助教授	環境設計情報学
藤田 和夫	断層研究資料センター理事長（大阪市立大学名誉教授）	地質学
村橋 正武	立命館大学教授	都市計画・地域計画

（平成17年11月1日現在）（50音順）

事業計画

本格的な成熟社会を迎え、社会全体が大きな変革期にさしかかっており、かつての量的な充足から、ゆとりや潤いといった質的な満足感を求める新たな社会システムの構築が進められている。

また、昨年兵庫を襲った記録的な風水害は、私たちの日々の暮らしを支える県土と生活の基盤がいかに脆弱であったかを改めて認識させ、さらなる安全で安心できる県土づくりが重要となっている。

平成17年度、県では、阪神・淡路大震災から10年が経過し、創造的復興への新たなステージを迎え、「安全と安心の確保」「未来への期待」「地域の元気と連帯」「新しいふるさとづくり」「参画と協働の推進」を柱に、「元気兵庫の創造」の実現を図ることとしている。

社会基盤整備では、災害復旧・復興事業の推進とともに、県民が安全で安心して暮らすことのできる成熟社会にふさわしい地域づくりを進めるため、美しい県土づくりや膨大なストックを有する公共施設の効率的な維持管理をめざすアセットマネジメントの導入などIT技術を活用した新しい施策が展開されようとしている。

こうした中、建設行政の支援・補完を担っている当センターの役割は益々重要性を増しており、県・市町連携のもと「たくましい技術者をめざして」「新しい技術開発をめざして」「安全で美しい地域づくりをめざして」を三つの柱として、従来の事業に加え、災害復旧に対する支援を強化するとともに、アセットマネジメント、CGなどITを活用した新規施策にも積極的に参画し、事業拡大を図る。

●事業計画体系表



建設行政や土地区画整理事業に携わる技術者が、自らに課せられた使命と役割を果たせるよう、専門知識・技術力を養う研修の開催などを行います。

1. 技術力の向上の推進

(1) 階層別技術研修の実施

県・市町の建設技術職員の資質の向上を図るため、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

① 兵庫県 県土整備部技術職員（土木職）

採用職員研修	当年度の採用職員／3日 新任技術職員としての基礎知識を修得
フォローアップ研修	前年度の採用職員／2日 測量～設計～積算の実務演習など
中級職員研修	採用後概ね6年程度の職員／1日 福祉のまちづくりにおける専門知識の向上など
主任職員研修	当年度の主任昇格者／2日 課題解決能力を養う事例研究など
5級職員研修	地方機関の課長補佐／2日 政策課題に関するグループ討議など

② 兵庫県 県土整備部技術職員（建築・機械・電気職）

吏員職員研修	実務経験が6年以内の職員／2日 技術職員に不可欠な基礎知識の習得など
中堅職員研修	当該年度主任昇格者及び実務経験が10年程度の職員／1日 福祉のまちづくりにおける専門知識の向上など
5級職員研修	主査、地方機関の課長補佐又は副課長／1日 重要施策の策定から実行までのプロセスの修得など

③ 市町建設事業担当職員

新任研修	実務経験が3年以内の職員／2日 積算、施工、監督など、職務上の基礎知識を修得
中堅研修	実務経験が10年程度の職員／2日 調査、設計、施工管理に役立つ専門知識を修得
部・課長研修	管理職等／1日 建設行政を巡る話題と情報の提供

④ 土地区画整理事業担当職員

新任研修	実務経験が概ね2年以内の職員／2日 土地区画整理事業の仕組みなど、基礎知識を修得
専門研修	実務経験者／1日 事業実施にあたっての専門知識



フォローアップ研修



中堅職員研修（建築職等）



市町建設事業担当職員新任研修



土地区画整理担当職員新任研修

(2) 専門分野別技術研修の実施

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県・市町の実務担当職員を対象に実施します。

舗装	アスファルト舗装の構造設計、材料、配合設計、品質管理等
道路計画	道路計画の手順と注意事項等
PC橋（補修）	PC橋の補強、点検・診断、補修
鋼橋（補修）	鋼橋の補強、点検・診断、補修
地盤調査	地盤調査の目的と方法及び得られるデータの解説
建設環境	建設副産物の取扱、リサイクルの現状、環境に配慮した公共事業等
道路植栽	道路計画に伴う植栽等の計画



道路計画研修



県内現場研修会

(3) 現場研修の実施

県内外の先進的な建設事業や区画整理事業、それらに関する取り組みを学ぶ場として、県・市町の実務担当職員を対象に現場研修会を実施します。

県内現場研修会	2回	1日
県外研修会	1回	1泊2日



CAD基本操作研修（CAD入門コース）

(4) 建設CALS/EC研修の実施

兵庫県建設CALS/EC整備計画に基づく建設CALSの推進・普及啓発に向け、公共事業の実務に携わる関係者の情報リテラシー向上を図るため、専門的知識の修得を目指した研修会を実施します。

電子施工管理コース（主幹・課長）	2回	電子施工管理を行う土木事務所の主幹および課長／1日 ①CALS／ECの概要 ②電子施工管理システム操作演習
電子施工管理コース（実務担当者）	5回	電子施工管理を行う土木事務所の実務担当者／1日 ①電子施工管理システム操作演習 ②周辺機器等の基礎知識
電子施工管理コース（施工業者）	7回	電子施工管理を行う施工業者の現場代理人等／1日 ①CALS／ECの概要 ②電子施工管理システム操作演習 ③周辺機器等の基礎知識
CALS基礎コース	1回	県・外郭団体の実務担当者／1日 ①画像データの基礎知識 ②デジカメと画像補正 ③OAツールの活用
電子納品コース	5回（県） 3回（市町）	県・市町・外郭団体の実務担当者／1日 ①電子納品の概要 ②納品ソフトの操作演習
CAD入門コース	3回（県） 2回（市町）	県・市町・外郭団体の実務担当者／1日 ①CAD製図基準（案）の概要 ②CAD基本操作演習
CAD初級コース	3回（県） 1回（市町）	県・市町・外郭団体の実務担当者／1日 ①CAD操作実習（発注図面の修正等）
CAD中級コース	2回	県・外郭団体の実務担当者／1日 ①CAD操作演習（発注図面の修正等）
GIS入門コース	2回	県の実務担当者／1日 ①GISの基礎 ②簡易GIS操作説明

(5) 研修会への支援

県・市町が実施する土木行政や土地区画整理事業に係る研修会等を支援します。

2. 職員の技術力向上の推進

センター職員を（財）全国建設研修センターなどが主催する各種の研修会に派遣するとともに、その報告会などの職場内研修を随時実施します。

また職員に対し、業務に関連する自主研究活動や資格取得を支援します。

1. 産学官一体の技術開発の推進

(1) 技術顧問制度の活用

センターが行う諸事業や、県・市町からの相談に対し、専門的な指導や助言を受けるため、大学をはじめ各界の識者にセンターの技術顧問を依頼しています。

(2) アドバイス制度の活用

建設技術およびまちづくりに関する質問や相談に対し、センターが有する技術力や情報、さらには技術顧問制度も活用しながら、回答や助言を行います。

(3) 調査研究等の推進・支援

県や市町が実施する建設技術およびまちづくりに係る調査研究を支援するとともに、センターによる調査研究等を行っています。

平成16年度から、『魚にやさしい川づくり検討業務』、『河川管理施設の維持管理計画検討業務』、『総合学習支援システム検討業務』等を県から受託しています。

またセンターでは、『GISシステムに関する調査研究』を行っています。



総合学習支援システム検討業務
モデル授業実施状況

(4) CG技術を利用した支援事業の推進

県・市町が実施する公共事業における住民の参画と協働活動を支援するために、CG技術を利用して事業中や事業完成後のシミュレーションを行うことにより、行政と住民のコミュニケーションの橋渡しを行います。



●芦屋市
山手幹線 芦屋川アンダー部

センターでは住民説明会への参加や、発注者への提案等、参加・提案型のCG作成を行います。

矢印キー等による簡単な操作で、3次元空間を自由に移動し、任意の視点からの景観をリアルタイムに表現します。



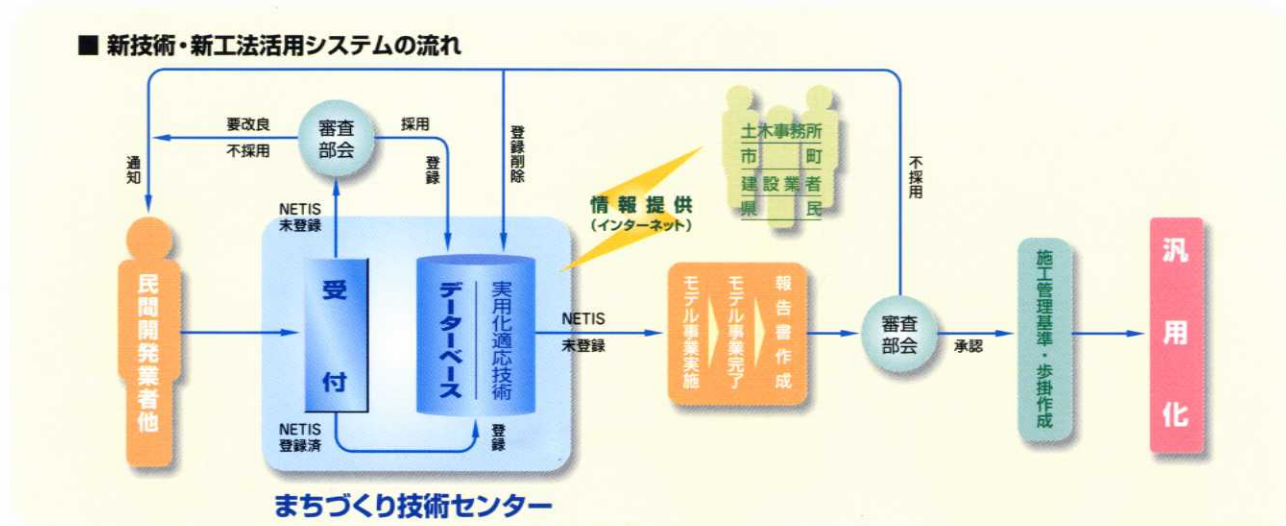
●西宮市 阪神電鉄 鉄道高架

社会基盤づくりやまちづくりに対する社会からの様々な要請に応えていくため、新技術の開発を支援するとともに各地で進められている新しい取り組みや技術情報を広く収集し、県・市町に提供します。

2. 新しい技術情報の収集と提供の推進

(1) 建設技術情報の収集・発信

兵庫県県土整備部が施行している『新技術・新工法活用システム』における受付、登録、データベース運営を行い、当センターのホームページから情報発信しています。



(2) 建設情報誌の発行

建設事業の紹介や建設技術およびまちづくりの情報を提供するセンター機関誌「CON-TECHひょうご」を年3回発行し、県・市町の職員に配布します。

とりわけ、地域住民主体の建設事業を紹介していくことに重点をおき、県・市町が行う新規事業の参考となることを目標としています。



CON-TECHひょうご

(3) 統合情報管理ネットワークシステムの整備

近年の情報化の進展に対応するため、インターネットを利用した情報交換、基幹データベース構築による情報の共有化などを行うことにより、県・市町に対する業務支援の充実とセンター内部の事務の効率化を図ります。



統合情報管理ネットワークシステム

(4) 技術図書の発行・販売

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。

また、これら発行図書の改訂情報は当センターのホームページに随時掲載しています。

●販売図書

土木請負工事必携	(平成14年1月)
土木工事共通仕様書	(平成14年1月)
土木工事施工管理基準	(平成14年1月)
小型構造物標準図集	(平成13年1月)
土木設計業務等委託必携	(平成10年3月)
詳細設計照査要領	(平成10年3月)
兵庫の地質	(平成9年3月)



(ホームページ) <http://www.hyogo-ctc.or.jp/>

安全で美しい地域づくりをめざして

1. 良質な社会資本整備の推進

(1) 建設事業への支援

発注者支援（県・市町事業への支援）

県・市町が実施する公共土木工事の設計監理・積算・工事監理・建設工事支援検査・情報処理業務を支援します。

① 設計監理

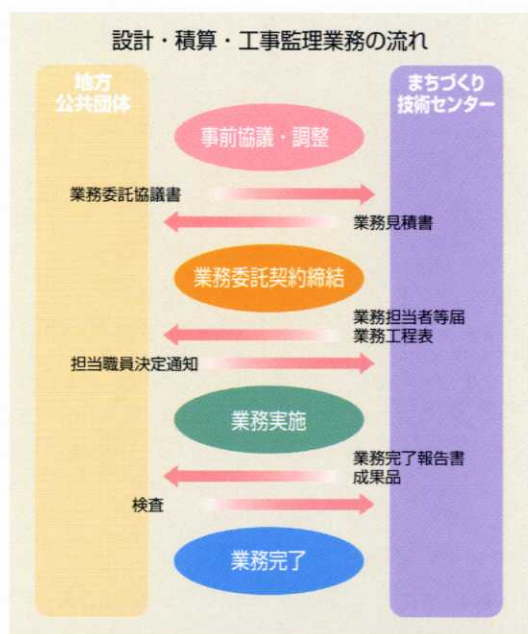
最新の技術情報と豊富な行政経験により、コンサルタント等の指導を行います。

② 積算

公正で中立、守秘性を確保します。また、会計検査時には技術的サポートを行います。

③ 工事監理

技術管理規定や監督要領等の専門知識に精通しており、的確に請負業者を監督します。



県や市町が行う公共事業に関して、その効果的な推進を支援するため、設計・積算・工事監理・検査等の業務を受託します。

また、県下の都市の健全な発展と秩序ある整備の推進のため土地区画整理事業の促進を支援します。

設計・積算・工事監理業務

道路

工事名 (一)西宮宝塚線 自歩道整備工事
委託者 西宮土木事務所
積算・工事監理



工事名 (主)洲本南淡線 道路災害防除工事
委託者 洲本土木事務所
積算・工事監理



河川

工事名 (一)淀川水系 寺畑前川 調節池整備工事(第1期)
委託者 宝塚土木事務所
積算・工事監理



工事名 (二)大谷川水系 大谷川 防潮水門下部工事
委託者 上郡土木事務所
積算・工事監理



橋梁

工事名 (都)三輪天神線 橋梁新設工事(武庫川大橋)
委託者 三田市
積算・工事監理



工事名 (主)香住久美浜線 須井川橋網橋梁工事
委託者 豊岡土木事務所
積算・工事監理



トンネル

工事名 町道54号線改良工事(八千代トンネル)
委託者 八千代町
積算・工事監理



工事名 (国)426号豊岡バイパス 戸辺羅山トンネル建設工事
委託者 豊岡土木事務所
積算・工事監理



ダム

工事名 新湊川総合開発事業(二)新湊川水系 鳥原川 石井ダム建設工事
委託者 神戸土木事務所
積算・工事監理



工事名 (一)円山川水系 横谷川 但東ダム建設工事
委託者 豊岡土木事務所
積算・工事監理



公園

工事名 吉川総合中央活動センター 吉川総合公園施設整備工事
委託者 吉川町
積算・工事監理



工事名 丹波並木道中央公園 園路整備工事
委託者 柏原土木事務所
積算・工事監理



砂防

工事名 (砂)高雄谷川 砂防施設改良工事
委託者 西宮土木事務所
積算・工事監理



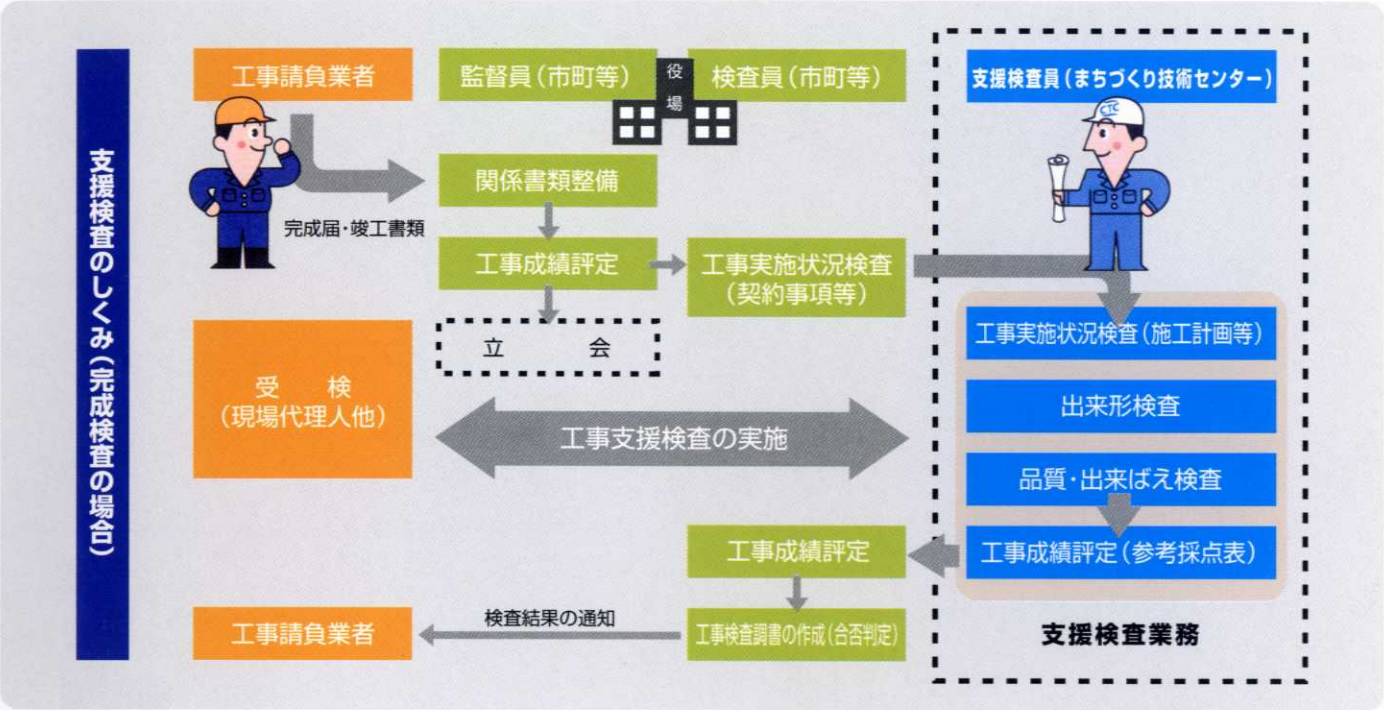
港湾

工事名 富島西海岸公共用地造成工事
委託者 北淡町
積算・工事監理



④ 建設工事支援検査業務

工事のより適正な施工の確保、工事施工状況のより中立公正な評価を行うため、市町の検査業務の一部を補完・支援する業務を行います。当技術センターが行う「建設工事支援検査業務」は、道路、河川等の土木工事について、「支援検査員」が検査員（市町等）、監督員並びに請負業者等の立会のもと、設計図書等に基づき、工事実施状況の検査及び現場での出来形・品質の検査を行うとともに、工事成績の参考評定を行うものです。



兵庫県防災エキスパート登録制度の支援

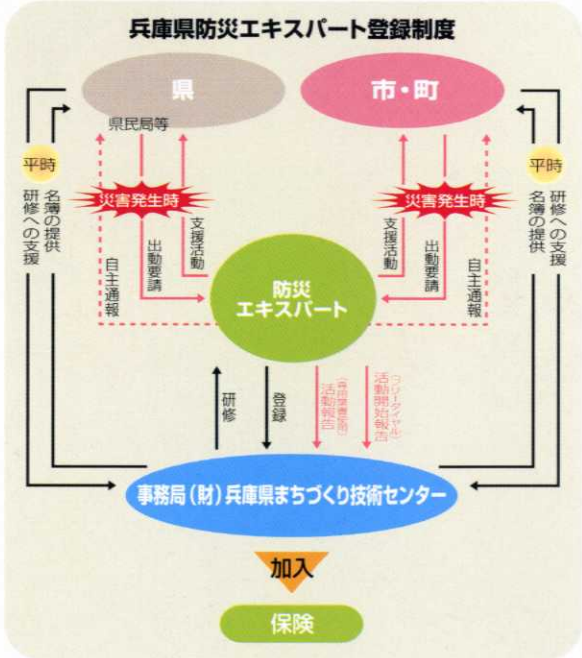
災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、今後の大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、兵庫県まちづくり技術センターが事務局となって運営しています。

●防災エキスパートの登録状況
（平成17年4月現在）

出身団体	人数
国	3
県	303
市町	56
その他	2
合計	364



防災エキスパート携行品



●防災エキスパート登録制度の活用

公共土木施設の管理者である県・市町は、事務局と締結する「活用に関する協定」に基づき、この制度を活用しています。

(2) 都市計画及び土地区画整理への支援

① 各種まちづくりへの支援

まちづくり交付金、密集市街地整備事業、街なみ環境整備事業等、様々なまちづくり手法の事業提案、事業調査策定等を支援します。

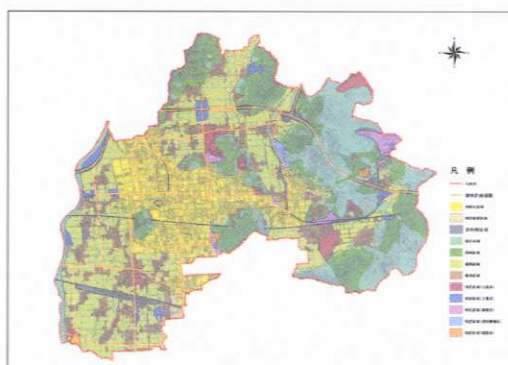
●まちづくり交付金（都市再生整備計画）



② 都市計画への支援

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、各市町の都市計画に関する基本的な方針（都市計画マスタープラン）の策定や市街化調整区域の土地利用計画策定並びに各種都市計画決定図書の作成を支援します。

●市街化調整区域の土地利用計画

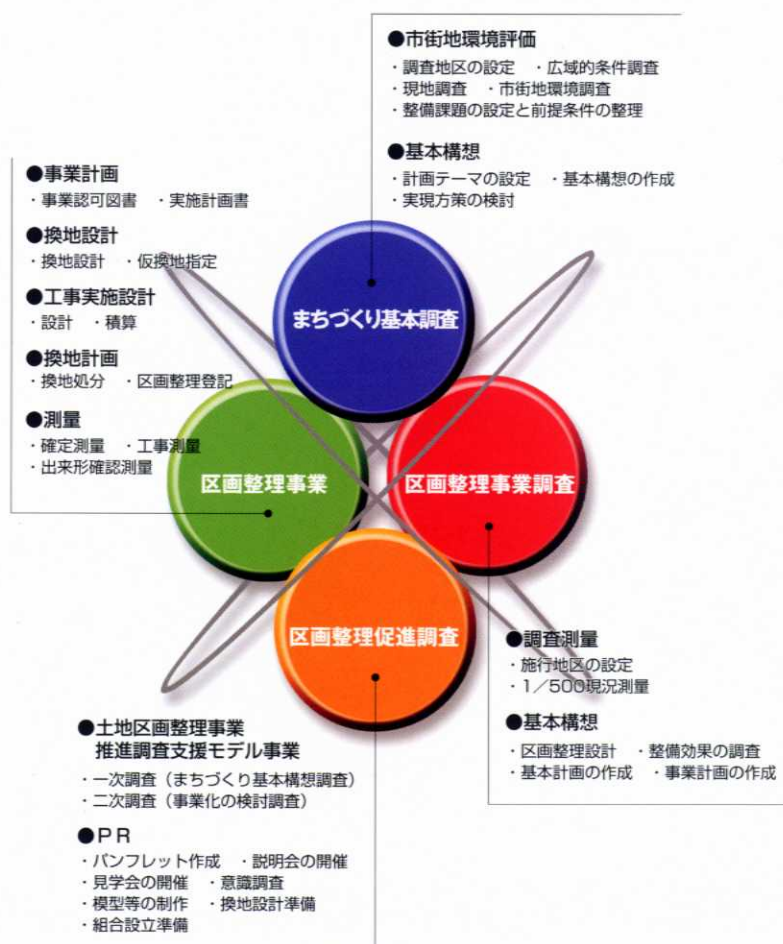


③ 土地区画整理事業への支援

都市の将来の発展を計画的に誘導し、秩序ある健全な市街地を創造していくための調査計画をはじめ、土地区画整理事業着手までに必要となる土地及び権利調査、事業計画の作成、事業認可後には、換地設計・計画、工事実施設計等を行い、事業の立ち上げから完了にいたるまでを総合的に支援します。

また、土地区画整理事業の最大の特徴である、土地の交換分合という手法を活かし、“地域の特性を考慮したまちづくりの計画”を作成するとともに、事業計画段階からワークショップ等による計画案の策定を支援し、住民参加によるまちづくりの推進を行います。

さらに、当センターでは平成15年度より、土地区画整理事業の一層の推進を図るために創設した「土地区画整理事業推進調査支援モデル事業」により、まちづくり基本構想調査及び事業化検討調査を市町からの要請を受けて協同で実施しています。



土地区画整理事業

現地調査

(播磨新宮駅南栗栖川周辺地区)



施行中

(和田山都市計画事業 和田山駅南土地区画整理事業)



施行後

(阪神間都市計画事業 芦屋西部第二地区震災復興土地区画整理事業)



(西播都市計画事業 塩屋土地区画整理事業)

施行前



施行後

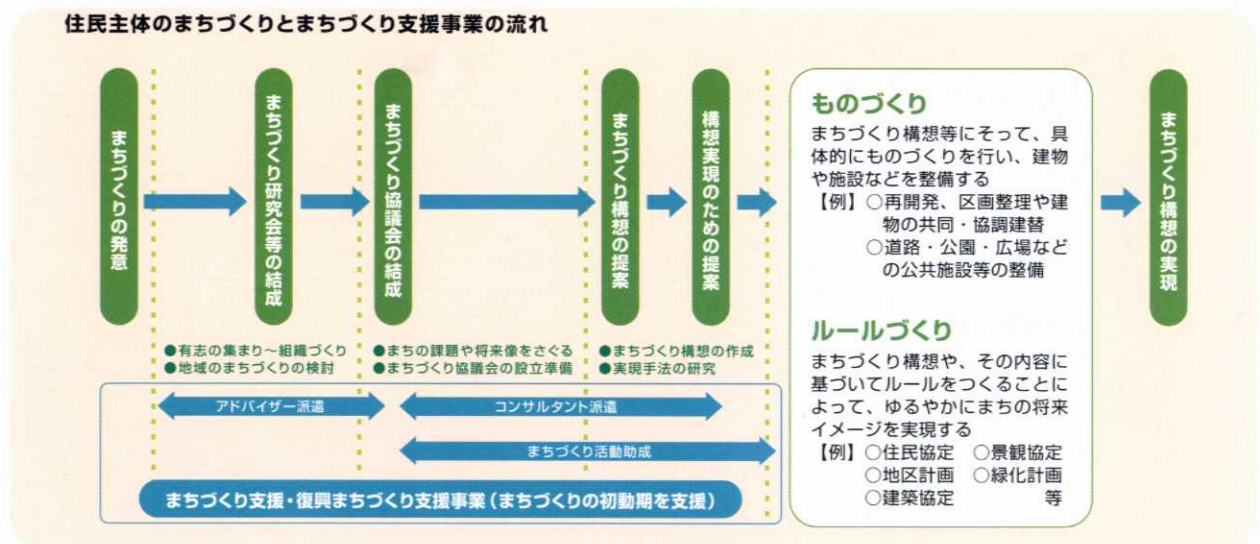


2. 住民の参画と協働によるまちづくりの推進／まちづくりセンター



(1) 住民主体のまちづくり支援

県下全域を対象として地域に根ざした住民主体のまちづくり活動を支援する「まちづくり支援事業」、及び阪神・淡路大震災被災地の10市10町（被災当時。現12市1町）の地域を対象として、復興にむけて展開される住民主体のまちづくり活動を支援する「復興まちづくり支援事業」を実施します。



●まちづくり支援事業の実施

- ・まちづくりアドバイザー派遣、コンサルタント派遣*
- ・まちづくり活動助成（継続地域についてのみ平成17年度まで）
- ・まちづくり広域活動助成

※県が重点的に推進するまちづくりに特化（H16～）

- ・市街地調整区域の土地利用計画の策定
- ・緑条例による整備計画の策定
- ・中心市街地活性化計画の策定
- ・景観条例による地区指定、協定 等

●復興まちづくり支援事業の実施

- ・まちづくりアドバイザー派遣、コンサルタント派遣
- ・まちづくり活動助成

(2) 人材育成と普及啓発

住民主体のまちづくり活動を支援する人材の育成と普及啓発に努めます。

- まちづくりコンサルタント等を対象とした「まちづくりコンサルタント会議」
- 地域のまちづくりリーダー等を対象とした「まちづくり実践ゼミ」
- 市町担当職員等を対象とした「まちづくり現地視察セミナー」
- 被災地域住民等を対象とした「復興まちづくりセミナー」
- まちづくり協議会等の情報交換を行う「まちづくり活動団体交流会」



まちづくり現地視察セミナー

(3) まちづくりに関する情報バンクの整備・運営

まちづくりに関する様々な情報を提供します。

- まちづくり実施地区紹介
- まちづくり活動資料集
- まちづくりセンターホームページ、ライブラリーの拡充・運営（図書等の貸出しを行っています。）
- 「ひょうごまちづくりセンター・つうしん」（年4回：web上で発行）

など、住民主体のまちづくりに役立つ情報をホームページを活用して提供していきます。



（ホームページ）<http://www.hyogo-ctc.or.jp/machicen/>



「ひょうごまちづくり情報」のホームページ
（まちづくりセンターのホームページからリンクしています。）

(4) 良好な景観形成の推進

景観形成地区等を対象として修景事業を行う県民からの依頼に応じて良好な景観形成を推進します。

●修景助成事業

- ・景観重要建築物修景助成
- ・一般建築物修景助成
- ・工作物等修景助成
- ・星空景観形成助成 ほか

●修景支援事業

- ・景観アドバイザー派遣
- ・景観計画策定等支援

●景観形成活動支援



景観形成支援事業 修景助成事例 龍野市 左：修景前 右：修景後



被災地空地の緑化推進助成事例 五色町

(5) 被災地空地の緑化推進

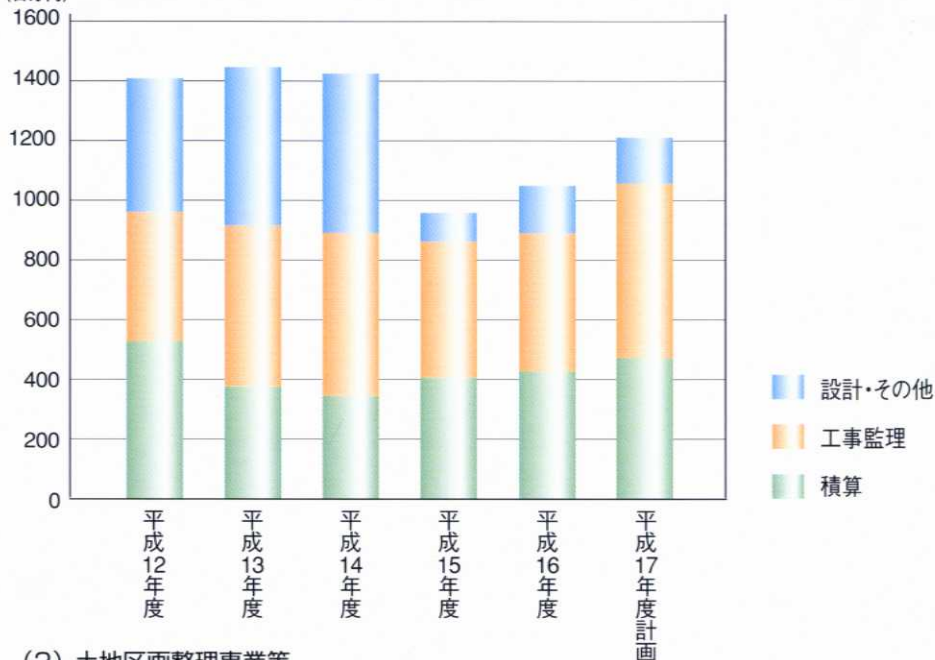
被災地のまちの景観を向上させ賑わいを取り戻すため、被災空地において住民団体等の緑化活動を支援します。

●被災地「花・緑いっぱい」推進事業

1. 受託事業の実績

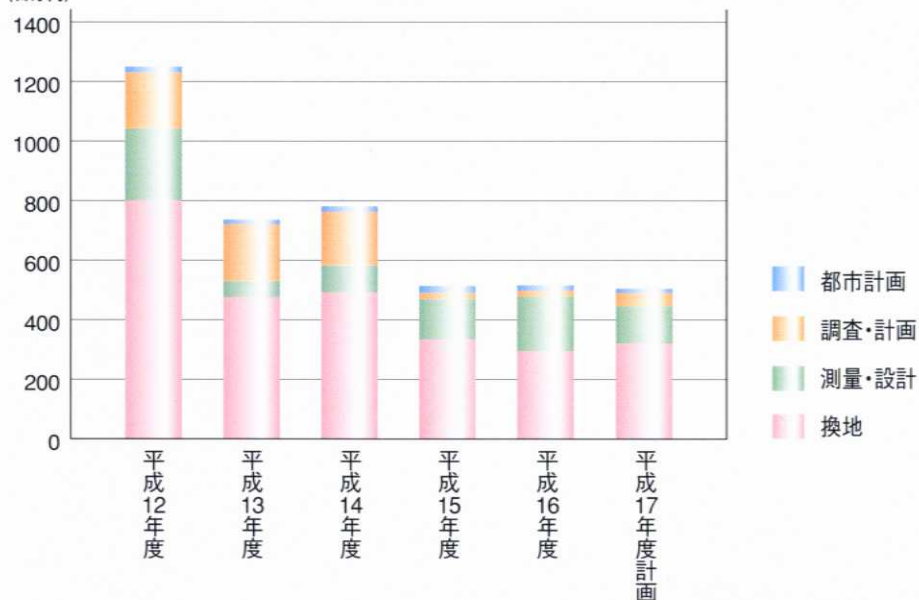
(1) 建設事業

(百万円)



(2) 土地区画整理事業等

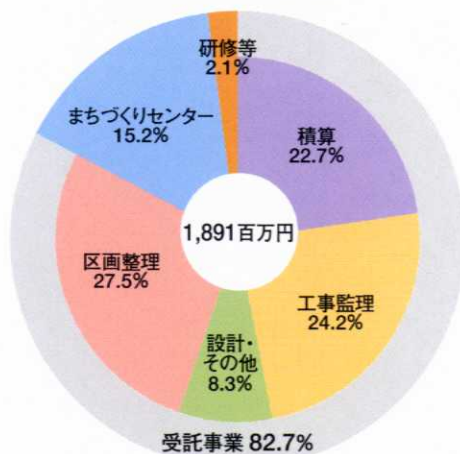
(百万円)



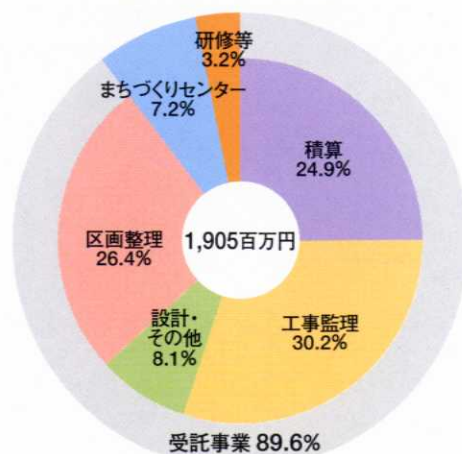
まちづくり技術センター事業のあらましを受託事業の収入額、事業内訳、及び研修の開催回数と参加人数。

2. 平成16年度実績及び平成17年度事業計画の内訳

(1) 平成16年度実績



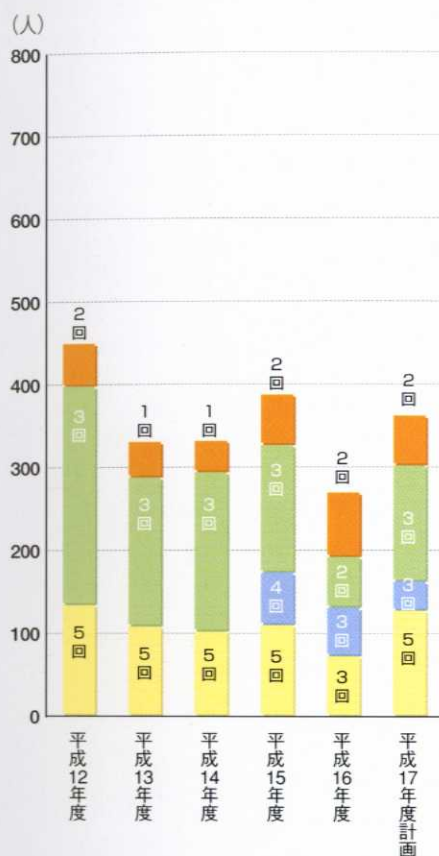
(2) 平成17年度計画



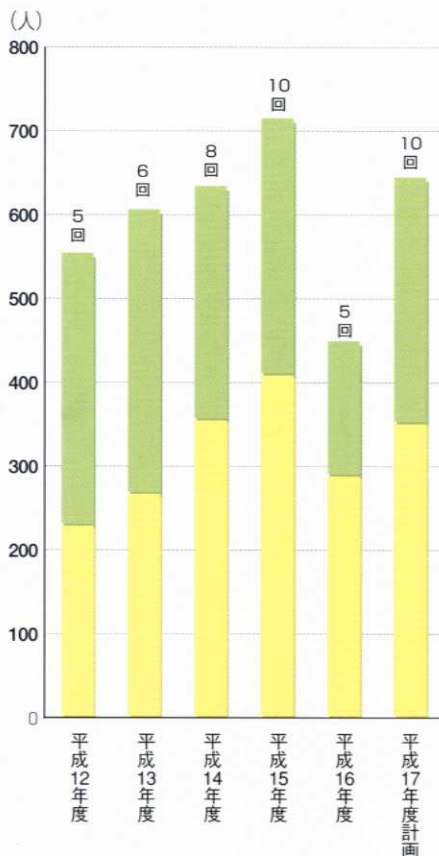
3. 研修の開催回数と参加人数

■ 県(土木職)
 ■ 県(建築職等)
 ■ 市町(建設)
 ■ 区画整理担当職員

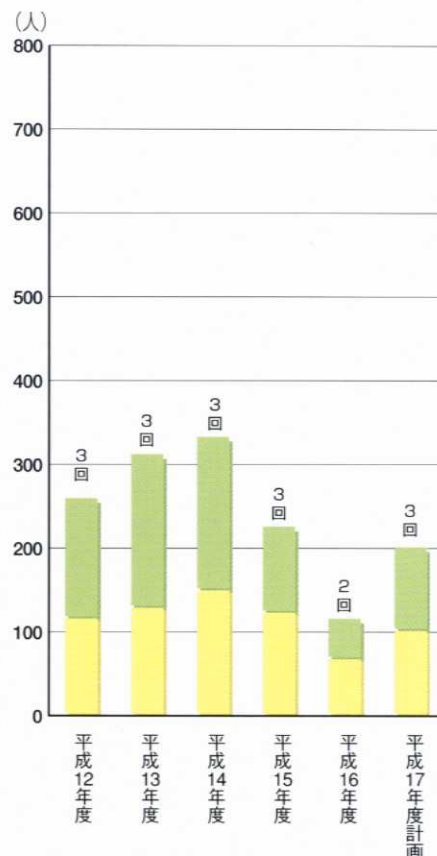
(1) 階層別技術研修



(2) 技術講習会等



(3) 現場研修



※平成16年度は災害により一部研修を中止

(4) CALS/EC研修

名 称	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
電子施工管理(実証実験参加者)*主幹・課長コース	37人/2回	38人/2回	54人/3回	40人/2回
電子施工管理(実証実験参加者)*実務担当者コース	40人/2回	39人/2回	62人/3回	100人/5回
電子施工管理(実証実験参加者)*施工業者コース	42人/2回	108人/6回	135人/8回	140人/7回
電子施工管理体験コース	57人/3回	60人/4回	—	—
CALS/ECとインターネット技術コース	—	77人/4回	—	—
電子納品コース	107人/6回	145人/11回	61人/3回	160人/8回
CAD入門コース	56人/3回	232人/12回	93人/5回	100人/5回
CAD初級コース	—	73人/5回	—	80人/4回
CAD中級コース	—	—	—	40人/2回
CALS基礎コース(CALS/EC基礎コース)	—	—	89人/5回	20人/1回
GIS入門コース	—	—	—	40人/2回

※()内は平成16年度までの名称

財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

〒650-0023

神戸市中央区栄町通6-1-21
(神明ビル5・6F)

TEL 078-367-1230 (代)

FAX 078-367-1232

E-mail : info@hyogo-ctc.or.jp

URL: http://www.hyogo-ctc.or.jp

まちづくりセンター

(神明ビル6F)

TEL 078-367-1263

FAX 078-367-1264

E-mail : machicen@hyogo-ctc.or.jp

URL: http://www.hyogo-ctc.or.jp/machicen/



阪神事務所

〒662-0857

西宮市中前田町1-25
(和成ビル4F)

TEL 0798-34-2275

FAX 0798-34-2285



播磨事務所

〒670-0965

姫路市東延末5-83
(播磨漁友会館3F)

TEL 0792-81-3377

FAX 0792-81-3388



但馬事務所

〒668-0055

豊岡市昭和町2-56
(サカモトビル2F)

TEL 0796-29-3031

FAX 0796-29-3073



丹波事務所

〒669-3309

丹波市柏原町柏原上中町東側280-1
(NTT丹波柏原別館1F)

TEL 0795-73-3750

FAX 0795-73-3660



淡路事務所

〒656-0022

洲本市海岸通1-11-1
(洲本ポートターミナルビル2F)

TEL 0799-25-5150

FAX 0799-25-5170

